

犬肉を取扱う
レストランやスーパー

100軒以上

増加中!!

日本の犬肉輸入検疫数量(農水省発表)

年	仕出地域	輸入数量(トン)
H28	ベトナム	8
H27	ベトナム	10
H26	-	-
H25	中華人民共和国	30
H24	中華人民共和国	25
H23	中華人民共和国	39
H22	中華人民共和国	31
H21	中華人民共和国	20
H20	中華人民共和国	5
H19	中華人民共和国	77

その犬はどこから来たの？
誰がどこで育てたどんな犬なの？

輸入される犬肉の 80%は盗まれたペット犬です。食用専用に飼育されている犬などいません。輸出国である中国やベトナムでは肉として売さばくためにペット犬の盗難が頻発しており、大きな社会問題になっています。また、病気の犬や、野良犬も同様に肉として売買されており、犬肉を食べた事による健康被害も報告されています。

家族が連れ去られ、売り飛ばされ、拷問のすえに誰かに食べられる事を想像できますか？

日本国内に犬肉を取り扱う店舗が100軒以上あり、それらの店舗で提供されている犬肉の全てが正規に輸入されたものではないとの証言もあり、国内における動物虐待も懸念されています。

犬の食用を禁止に !!



世界愛犬聯盟
World Dog Alliance

犬肉の食用と輸入に

NO!



- ✓ 犬の食用禁止
 - ✓ 犬肉の輸入禁止
- 法制化を求めます



アジア各地における犬肉取引は日本のメディアではほとんど取り上げられる事はなく、日本人の多くは、昔話だと思っているかもしれません。インターネットの普及とともにその闇の産業は隠れ蓑を失い、その野蛮性、犯罪性は瞬間に全世界に発信され世界中で反対デモが行われています。

日本においても、戦後の食糧難の頃には犬を食べた人々もいました。しかし、国が豊になり、十分に栄養のある食事に恵まれる事により、犬を食べる人はいなくなりました。そして今では、犬を食べようという発想すらありません。

日本の食文化ではありません!!

犬肉を提供する店が 100軒以上

農水省の輸入統計で公表されているように、犬肉の主な輸出国は中国とベトナムです。そしてこれらの国からの日本への移住者が急激に増加しています。主にこのような在留外国人が好んで犬肉を食しています。さらに、犬を食べる事は現代日本においては合法です。

動物愛護法の充実や殺処分ゼロを目指す一方で、ペットの代名詞ともいえる犬を食べてもよいことになっている「法律の抜け穴」なのです。

まさか！日本で犬を食べていいの!?

この驚愕の事実を知らない日本人は大勢います。食べようと思っていないので、気付かないのです。『これまでは、法律で禁止にする理由がなかったから…』と、動物愛護に詳しい法律の専門家は言っています。

『日本では犬は食べ物ではない!』

と明確に示さねばなりません。

私達は世界初、唯一の犬食禁止の法制化を推進する連盟です。世界中で活動を展開しております。日本国内の犬食を禁止にするために日本の皆様、国会議員の皆様のお力添えを強くお願い申し上げます。

ホームページ

<http://www.worlddogalliance.org/?lang=ja>

❖ 2017年4月

犬猫食を全面禁止にした台湾の王育敏議員はこう言っています。「国際化が進む社会において、自国で法律や罰則をつくることにより、外国人にもルールを示す義務があります」

❖ 2017年6月～

アメリカ議会で犬猫食禁止の法案が提出され、近く通過する見込み

❖ 2018年8月

イギリス首相が犬食禁止の立法化を積極的に検討することを表明。10月16日にはWDA主催の国会でのイベントで20名の議員がカメラに向かって賛同の意を表し、禁止にむけての動きが活発化している

犬の食用禁止



世界愛犬聯盟
World Dog Alliance